

援対象者一人一人の課題に応じて、**トライアル雇用奨励金**<sup>80</sup>の活用など、正規雇用化に向けた一貫したきめ細かな支援を実施している。また、支援拠点として、「わかものハローワーク」（平成27年4月1日現在、全国28か所）、「わかもの支援コーナー」「わかもの支援窓口」を設置し、若者の就職支援を実施している。これらの支援拠点では、

- ・求職者の希望職種やスキルを基に、個人の状況に応じたプランの作成
- ・担当者制による個別の職業相談・照会
- ・求職者向け各種セミナー
- ・職場定着支援

などが実施されている。

#### ウ 若者の農林漁業への就業促進（農林水産省）

農林水産省は、若者が安心して農林漁業に就業していけるよう、給付金（年間150万円）の給付、資金の無利子貸付け、情報提供、就業相談会を実施するとともに、作業実態や就労条件を理解してもらうためのトライアル雇用、就業の場での研修を進めるための雇い主への助成、教育機関における研修を推進している。

#### (4) 起業支援（経済産業省）

経済産業省は、**女性、若者/シニア起業家支援資金制度**により、新規開業しておおむね7年以内の若者に対して、株式会社日本政策金融公庫による低利融資を実施している。

## COLUMN No.6

### 耕すシェフ（総務省地域おこし協力隊）の活動 ～若者と女性は魅力ある地方を目指す～

若者に対する就労等支援の充実は、子ども・若者育成支援推進大綱の重点施策の一つであり、政府の重要課題である「**地方創生**」の担い手としても、若者には大きな期待が寄せられている。

そのような中、**島根県邑南町**は県中部の農業を基幹とする人口11,966人の町であるが、平成22（2010）年に策定した「邑南町農林商工等連携ビジョン」に基づく「A級グルメ立町」実現のため、将来、シェフになることを志望する都会の若者たちを誘致し、将来の独立起業を支援する「**耕すシェフ**」研修を実施しているので紹介する。



島根県邑南町

「耕すシェフ」研修とは、**総務省「地域おこし協力隊」制度**を活用したもので、農林業や食に関心のある都会の若者たちを邑南町に誘致、地元食材を活用した生産・加工・販売、町営レストラン（本格イタリア料理店・素材香房ajikura）での調理・経営実習など、食に関わる全ての流れに精通したビジネス人材を育成するプログラムであり、研修期間中は給与が支給され

80 職業経験、技能、知識などから安定的な就職が困難な求職者について、一定期間試用雇用した場合に助成するもの。求職者の適性や業務遂行可能性を見極め、求職者と求人者の相互理解を促進することなどを通じて、その早期就職の実現や雇用機会の創出を図ることが目的。

る。平成22年以来、17名の若者たちが邑南町で本研修を受講し、うち14名が定住している。

研修生は調理実習だけでなく地元農家での野菜の栽培も経験し、農家との交流を通じ仕入れの経験等も積んでいく。中でも「耕すシェフ」第4期生 南原 悦子（なばら えつこ）さんは、研修生で初めて実験店舗での経営実習に単独で取り組むまでとなり、将来、自分のお店を持つという夢に近づきつつある。



町営レストラン ajikura



「耕すシェフ」第4期生 南原さん